

愛荘町における がん検診受診率の現状



愛荘町イメージアップキャラクター
あしろうさん

愛荘町 健康推進課

1



滋賀県 愛荘町の概要

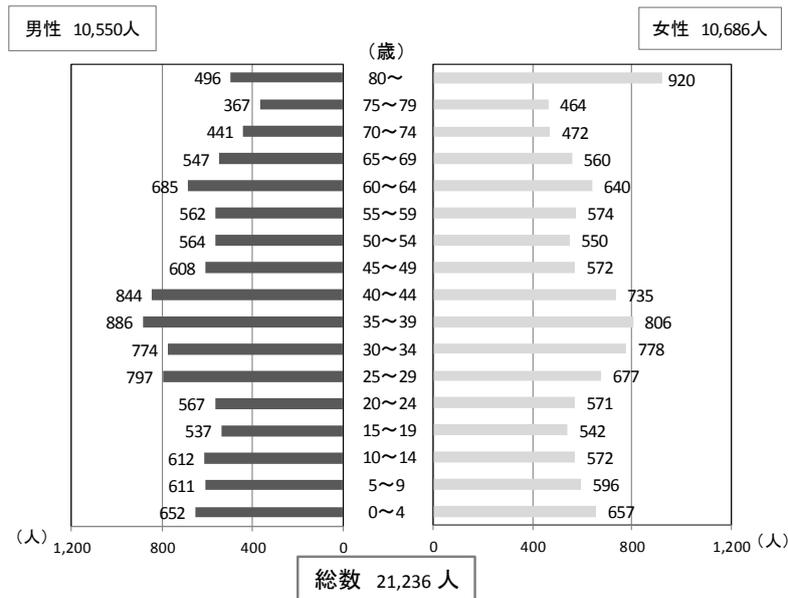
- 平成18年2月、愛知川町と秦荘町が合併した町
- 琵琶湖の東部に位置し、人口21,236人(平成26年4月現在)
- 町内には、8つの診療所があるが、総合病院は無く、他市町へ行かなければならない



2



滋賀県 愛荘町の人口構成



20歳～40歳の子育て世代の人口がもっとも多くなっている。
 転入・転出も多く、愛荘町のがん検診を知る機会が少ない人も多い。
 (H25年度の転入は1072人、転出は940人と、約1割の流動がある)

がん検診の概要

種別	対象	自己負担	実施体制
胃がん (問診・胃部X線)	40歳以上 毎年	1000円	集団のみ (6月～7月の12日間)
大腸がん (問診・便潜血検査)	40歳以上 毎年	500円	集団のみ (胃・乳と同時実施)
子宮頸がん (問診・視診・細胞診・ 内診)	20歳以上 隔年	集団 1000円 個別 1700円	集団(8月～10月の12日間) 個別(通年)
乳がん (問診・視触診・ マンモグラフィ)	40歳以上 隔年	集団 1100円	集団(8月～10月の12日間) 個別(クーポンの方のみ)
肺がん (問診・胸部X線、 喀痰検査*)	40歳以上 毎年	500円	5月～6月の4日間

*喀痰検査は、喫煙指数600以上の方のみ(追加徴収無)

愛荘町 がん検診受診率(H26年度)

種別	愛荘町(推計受診率)	愛荘町(人口割合)	滋賀県(推計受診率)
胃がん	14.2% (県内3位)	6.7%	6.0%
大腸がん	26.3% (県内1位)	12.4%	18.8%
子宮頸がん	34.3% (県内1位)	16.9%	25.4%
乳がん	32.5% (県内1位)	18.5%	21.7%
肺がん	13.0% ※ (県内8位)	6.1%	11.8%

※肺がん検診の74%が65歳未満。65歳以上の方は感染症法による結核健診を優先している為、肺がん検診とほぼ同一の検査を受けているが、分母に換算されても受診率に反映されていない。

受診率の算定は推計受診率を利用 分母推計対象者①②③はH22年国政調査の対象者を利用

$$\text{推計受診率} = \frac{\text{受診者数(子宮・乳がんの検診にあつては2年間の受診者数)}}{\text{①対象年齢人口} - (\text{②就業者数} - \text{③第1次産業就業者数})}$$

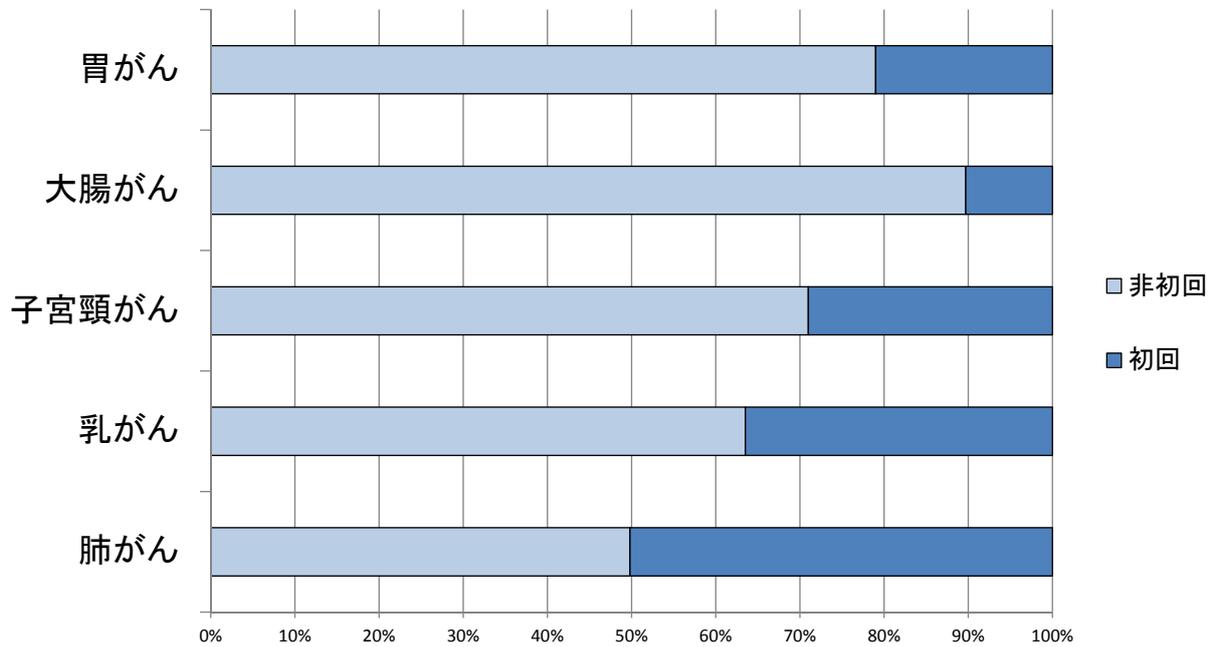
5

愛荘町 精検受診率(H26年度)

種別	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検未受診者数	精検未把握者数	精検受診率(%)	滋賀県精検受診率(%)
胃がん	666	61	55	3	3	90.2	91.4
大腸がん	1238	93	85	8	0	91.4	82.1
子宮頸がん	692	6	5	1	0	83.3	92.0
乳がん	551	52	48	0	4	92.3	95.1
肺がん	612	9	8	1	0	88.9	91.0

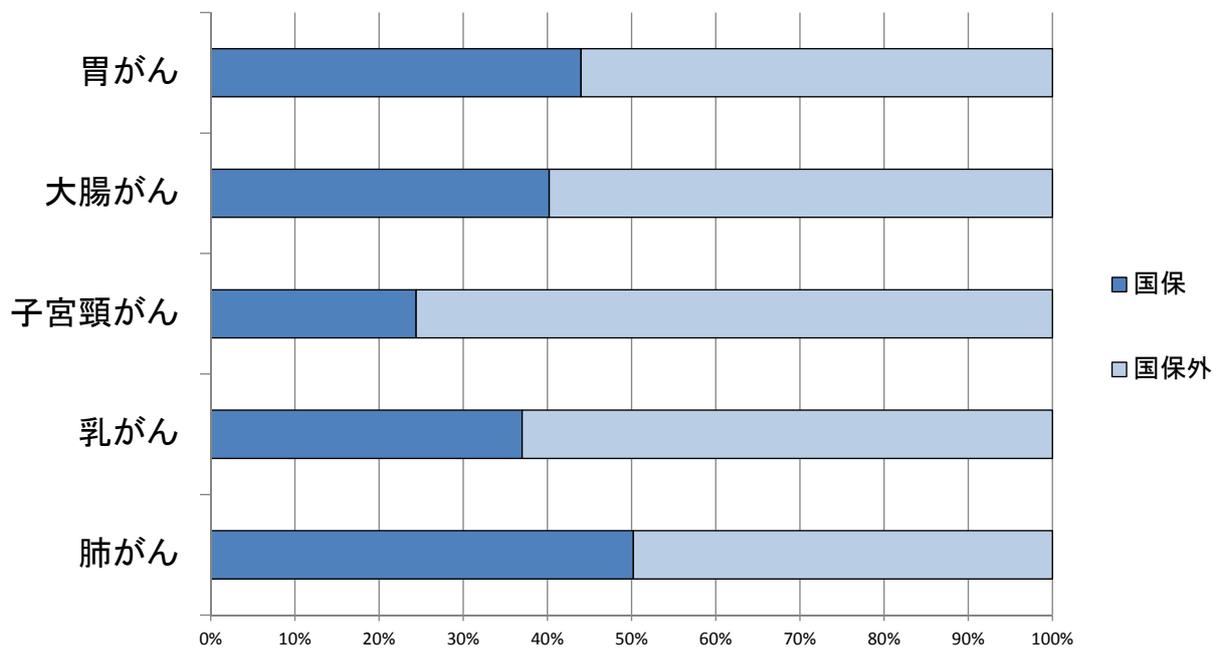
6

非初回・初回の割合



7

国保・国保外の割合



8



愛荘町の受診勧奨

- ① 3月に次年度の保健センター事業を掲載した「健康カレンダー」を全戸配布。
- ② 各検診3週間前に、個別通知(後述)。
- ③ 「広報あいしょう」へ掲載。
- ④ 子育て広場や町内事業所へ、がん検診の出前講座。
- ⑤ 2月の『滋賀県がんと向き合う週間』において、重点的な啓発を実施。

9

個別通知対象者

・昨年、一昨年に受診歴のある方

乳がん・子宮頸がんについては2年前、3年前に受診歴があり、昨年度受診歴の無い方

・各検診の重点対象年齢(節目年齢)

例) 胃がん検診・・・40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳

子宮頸がん検診・・・21歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳

※但し、過去の精検において経過観察になった方や、過去「がん」と診断された方、対策型検診対象外となった方を除いて、通知している。

10

個別勧奨 工夫点

- 各検診の初日より3週間前に、受診票を個別通知
- 同時実施の検診は、受診票を同封
 - 肺がん検診と肝炎ウイルス検診
 - 胃がん検診と大腸がん検診
 - 乳がん検診と子宮頸がん検診
- 大腸がん検診について
 - 昨年度、受診歴があり、除外対象とならなかった方については、検査キットと検診票を受診票に同封して郵送。
- 子宮頸がん検診について
 - 集団検診の時期が終了した段階で、2年前、3年前に受診歴があり、今年度の子宮頸がん検診対象者になった方へ、再度医療機関受診を促す個別通知を実施。

11

個別勧奨 まとめ

- 受診歴のある方に個別通知を実施しているため、非初回割合が高い。
- 特に、大腸がん検診については、キットを送付している為、継続受診する方が多い。
- 個別通知が無いと、「受けられない」と勘違いをする住民の方もあり、自主的・初回の検診受診が増えない。

12

愛荘町におけるがん検診の課題

- 近隣に医療機関が少なく、集団検診に頼っている。
- 受診者数も少ない為、検診日数が決まっており、通年受けられるわけではない。
- 委託業者も限られているので、日程は自由に決められない。

→滋賀県統一で個別検診を実施している子宮頸がん検診以外は、受診機会を逃すと、1年間受診することができない！